

平成20年6月21日

宮 城 県

栗駒ダムへの異常流入について（第2報）

平成20年6月21日午前0時30分に、栗駒ダムへの約37万 m^3 の異常流入がありました。

これに伴い、ダムの水位は90cmほど上昇しましたが、事前に放流をして空容量を確保していたこともあり、下流への影響はありませんでした。

この異常流入の原因を専門家（国土技術政策総合研究所危機管理技術研究センター砂防研究室小山内室長）が調査した結果によると、上流の土砂ダムに貯まった水が土砂ダム上部を越流し、天端の一部が浸食拡大し、濁水が流下したものです。

土砂ダム下流にある砂防堰堤が、土砂に含まれる巨礫や流木等を捕捉し、濁水を栗駒ダムが貯留したものです。

今回は、砂防ダム及び栗駒ダムが十分に機能したものと考えられます。

一方、現在の土砂ダムの状況は、水みちが形成され、水位が低下したことにより、以前の状況よりも危険性が低下していると考えられます。

なお、今後も県では、異常な流入に警戒するとともに、避難対策として土石流センサーの設置を進める等、土砂ダムに関する対策を進めていきます。

問い合わせ先

宮城県農林水産部農村整備課 防災対策班

電話 022-211-2875

宮城県栗原地方振興事務所 栗駒ダム管理事務所

電話 0228-45-1306

宮城県土木部河川課 企画調査班

電話 022-211-3173

宮城県土木部防災砂防課 防災企画班

電話 022-211-3175